

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和4年度第1回高松市国際交流推進協議会
開催日時	令和4年7月14日(木)午前10時～11時
開催場所	113会議室
議 題	(1) 令和3年度 国際交流推進事業実施状況について (2) 令和4年度 国際交流推進事業について (3) その他について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席者	<委員> 原委員、時岡委員、平田委員、石原委員、稲井委員、オブリー委員、岸本委員、高城委員 <市> 中川創造都市推進局長、一原創造都市推進局参事、次田文化・観光・スポーツ部長、平田都市交流室長、堀内都市交流室長補佐、高木主査
傍聴者	0人 (定員 5名程度)
担当課及び連絡先	観光交流課 都市交流室 (Tel.839-2197)

審議経過及び審議結果

議題(1)について

・事務局の説明に対し、下記の意見があった。

- セント・ピーターズバーグ市との事業が多く、他の都市との交流事業は少ないが、これはこれまでの姉妹都市交流の実績が反映しているのか。
- 昨年度がセント・ピーターズバーグ市との姉妹都市提携60周年の記念の年であり、記念事業を多く実施したため、事業数が多くなっている。今年度は基隆市との交流都市締結5周年なので、基隆市との実施事業が多くなると思われる。
- 学校給食の献立を通じてセント・ピーターズバーグ市を紹介するという取組は面白い。どのようなメニューか。
- セント・ピーターズバーグ市にちなんだメニューとして、クラムチャウダーとスラッピージョーを提供した。
- うみまち商店街には時々行くが、セント・ピーターズバーグ市にちなんだ壁画があることは知らなかった。

- 交流する学校の選定はどのように行われているのか。
- 教育委員会の協力を得て、学校に希望調査をした上で、選定している。
- その学校が選ばれる理由は、熱心な先生がいるということか。
- 校長先生を始め、先生の国際交流分野への関心や影響が大きいと思う。
- 初等中等教育における国際交流教育はとても大切だが、先生方の国際交流の関心を高めるための取組は実施しているのか。
- 今のところ実施しておらず、今後の課題である。
- 小学4年生を対象としたパンフレットの配布は、毎年しているのか。
- 小学4年次に、授業で国際交流について取り扱うと聞いており、補助教材になればと配布している。
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会における大会後のレガシーとして、神戸市は、アジア陸上大会を開催していくとのことだが、高松市としてはレガシーとして何か実施する予定はあるか。
- 特に実施予定の取組はない。

議題(2)について

・事務局の説明に対し、下記の意見があった。

- 牟礼エルバートン親善委員会の活動に関して、昨年は、交流40周年の記念の年だったが、相互訪問を延期し、来春頃の予定で調整している。まずは大人の相互訪問をしたあと、高校生の相互訪問は、早ければ来夏から再開したいと考えている。
- セント・ピーターズバーグ市からの招へい教師に対して、感謝状の贈呈は予定しているか。外国では賞状などが喜ばれる。
- これまで、就任時と退任時に市長表敬を行い、高松市ゆかりの品物を記念品としてお渡ししており、今回も保多織の筆入れと高松まつりのTシャツをお渡しする予定である。
- 台湾とは今年交流協定締結5周年の記念として、リアルでの交流を念頭において進められているということだが、何がどうなったらリアルで行うか、基準はあるのか。
- 基隆市との交流に限らず、コロナの収束状況や、各国の入国・渡航制限、外務省の感染症危険レベルなどから総合的に判断するほか、公式訪問団の派遣には、祝賀ムードも必要であることから、市民感情にも配慮しながら渡航の可否やタイミングを判断していく予定である。
- トゥール市との交流について、地域コミュニティ単位で国際交流イベントを実施するということが、会場は決定しているのか。
- 仏生山交流センター、十河コミュニティセンター、木太南コミュニティセンター、屋島西コミュニティセンターで実施する予定である。
- 香川日仏協会としても、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントを実施できていな

いため、全面的に協力させてもらいたい。

- 市政出前ふれあいトークは、昨年度の実施はなかったが、今年度新規に実施するものか。
- 市側が計画して実施するものではなく、市民からの要望があった際に行くという仕組みのものである。昨年度は要望がなかったが、今年度は要望があったため実施するもの。
- 英語・中国語に専門性を有する職員を配置しているとのことだが、その言語では対応できない方たちへの対応はどうされているのか。
- それ以外の言語での対応が必要な場合は、庁内に配置している翻訳機能アプリを搭載したタブレットを活用して意思疎通を図ってもらうようにしている。
- タブレットは誰でも使えるのか。
- 職員が、来庁した方とタブレットを介して意思疎通を図る。
- 市役所に来庁した時、外国人の窓口はどこになるのか。
- 現時点で外国人専用の窓口は設置していない。それぞれの来庁目的に応じた窓口等に行ってもらい、英語・中国語の場合は、担当課の職員が都市交流室に通訳依頼の連絡をし、都市交流室から職員を派遣し通訳を行う。その他の言語の場合はタブレットを使用して意思疎通を図る。
- そういったタブレットがあることは、告知はしているのか。
- 元々は障がい者の方との意思疎通を目的として導入したものであり、所管課である障がい福祉課において、ホームページに掲載している。
- トビタテ留学 JAPAN は、昨年度行けなかった学生が今年度留学する予定である。来年度以降は自走する必要があるため、方法について市と相談したい。
- 今年度、小学4年生に配布するパンフレットを電子データで送るのであれば、4年生に限らず全学年で使えるようにしてはどうか。
- 学校単位で配布する予定のため、学校の判断で他の学年でも授業等で活用してもらえらると思う。校長会で説明し、活用の依頼をする予定である。

その他

- 南カリフォルニア香川県人会の会長によると、南カリフォルニア香川県人会の会員は高松市にルーツがある人が多い。また、設立100周年記念では、高松市にルーツがある会員の子どもが、植田小学校に体験留学するなど、水面下でいろんな交流が行われている。高松市はセント・ピーターズバーグ市と長く交流を行っているが、プラスアルファで県人会とも経済交流、教育交流ができないか検討してほしい。
- 国際情勢の問題として、ウクライナからの避難民の受入れ状況はどうか。
- 先日、県内で初めて避難民を1名受入れた。今後、本人の意向を聞きながら、必要な支援を行っていくこととしている。

※ ○委員 ●事務局